



# 熊小だより

発行者 校長 山川 晃司



## 各種表彰 おめでとう!!

3月8日(木)、今年度最後の全校集会において、以下の表彰伝達を行いました。

### <第68回福島県書きぞめ展>

○毛筆の部 ※名前は伏せてあります

書きぞめ大賞 1年 児童

(県No.1の賞です)

書きぞめ準大賞 3年 児童

(県No.2の賞です)

書きぞめ賞 2年 児童

書きぞめ奨励賞 5年 児童

○硬筆の部

書きぞめ賞 1年 児童

書きぞめ奨励賞 2年 児童

○団体賞

学校賞 熊倉小学校

### <第47回災害事故防止習字・ポスター作品展>

○習字の部

優秀賞 2年 児童

3年 児童

優良賞 2年 児童

3年 児童

5年 児童

佳作 1年 児童

2年 児童

4年 児童

○ポスターの部

佳作 1年 児童

3年 児童

### <税に関する絵はがきコンクール>

白河法人会会長賞 6年 児童

銅賞 6年 児童

他にも、前号(熊小だよりNo.506)で紹介した「村体育・文化成績優秀者表彰」の伝達を行いました。

入賞したみなさん、おめでとうございます。



## 「善行賞」「みんなわくわく賞」改め みんなが善行賞 みんながわくわく賞

左記表彰伝達後、校長講話で以下のような話をしました。

～前 略～

さて、3月21日の修了式の前には、6年間学校を休まなかった人へ「皆勤賞」、よい行いをした人へ「善行賞」、あいさつがよくなった人へ「みんなわくわく賞」を与える予定でした。その中で、皆勤賞の表彰は予定どおり行います。

でも、「善行賞」と「みんなわくわく賞」は今年から変更します。その理由は、誰に賞をあげるのかを決めるのがとても難しかった、というか決めるのが無理だったからです。だって、ここにいる熊倉小の全員が必ず何かしらのよい行いしていることは間違いないと校長先生は思っています。そして、校長先生がいつも話しているように、学校でのあいさつはみんなとてもすばらしいです。だから、この2つの賞については、あげる人とあげない人を分けることができませんでした。

そこで、校長先生が考えたのが、今年は「みんなが善行賞 みんながわくわく賞」という賞を全員にあげるといことです。賞状の裏には、自分で今年一番よい行いをしたと思うことを自信をもって書いてください。だれも見えていないところで行ったことでもいいです。

あいさつは、学校と地域に分けて自分で「とてもよくがんばった」と思ったら二重丸、「がんばった」と思ったら丸をつけてください。みんなのあいさつがすばらしいのは、校長先生がよく知っているので「できなかった」という印はありません。これも自身をもって二重丸か丸をつけてください。

そして、皆勤賞を除いて「善行賞」と「みんなわくわく賞」は今年で終わります。なぜなら、来年からもずっと熊倉小学校の子ども達は「みんなが善行賞 みんながわくわく賞」に違いないすばらしい子どもばかりだからです。

先日行われた、学校運営協議会でも検討した結果、選考の難しさとそれに伴う不公平感増長の心配、今後の持続可能性などを鑑みて、「善行賞」と「みんなわくわく賞」は、発展的に解消します。

ただし、次年度以降も引き続き善行やあいさつを進んで行うように促すとともに、できていることを大いに称賛しながら、よりよい生活態度を身に付けさせていきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

～裏面にサンプルを載せましたので、ご覧ください～